

所 属	林政部 森林整備課		
担当(係)名	整備担当	内線	3192
	間伐担当		3194

健全で豊かな森林づくりのための間伐を重点支援

< 森林整備加速化・林業再生基金事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
2,295,171	国庫 1,375,190	補助金 2,294,839
うち3月補正分 403,674	使手 419,613	
(前年度 2,816,914)	一般財源 500,368	

2 背景・現状

県では「新緊急間伐推進五ヶ年計画（H17～H21）」を策定して間伐を推進してきた。その結果、平成21年度末で、計画量74,000haに対し73,000ha（99%）の間伐の実施を見込んでいる。

しかし、県内には間伐の必要な森林がまだ多く残されており、また森林の成長に伴い木材として利用可能な時期を迎える森林も増加していることから、「新たな間伐計画（H22～H26）」を策定し、引き続き間伐を推進する。

3 事業目的

「新たな間伐計画」では、引き続き「災害に強い森林づくり」に取り組むとともに、「伐って、利用する」という「生きた森林づくり」を推進するため、間伐材を搬出・利用する「利用間伐」を促進し、間伐材を安定的に市場に供給し、林業・木材産業の活性化を図る。

4 事業概要

(1) 森林整備事業費[1,391,165千円]

森林所有者等が実施する間伐施業等に補助

- < 事業主体 > 森林所有者、森林組合、森林整備法人等
- < 補助率 > 国費3/10～5/10、県費 6/10～1/10

(2) 条件不利森林公的整備加速化事業費[500,332千円]

< 森林整備加速化・林業再生基金事業 >

奥地等の条件が不利な森林の間伐施業に補助

- < 事業主体 > 県、市町村、森林組合、森林整備法人等
- < 補助率 > 国費10/10（250,000円/haを上限）
- < 採択要件 > 集約化計画の策定



新たな間伐計画(案)の概要

- ・ 計画期間
H22年度～H26年度
次期「岐阜県森林づくり基本計画」の計画期間(H24～H28)に合わせて平成23年度見直しを予定
- ・ 間伐必要量
70,000ha（H22～H26）
14,000ha（H22計画量）
- ・ 利用間伐目標材積
12.3万m³(H20)
24.9万m³(H26)：2倍

< 利用間伐の促進 >

(款)6 農林水産業費(項)5 林業費 (目)(6)森林整備費
(明細書事業名) 公共事業
森林整備事業費補助金 条件不利森林公的整備加速化事業費 他